

今月の学習会報告 ～ 4階病棟塩釜救急合同新生児蘇生研修 編～

開催の経緯

4階病棟では今年で2回目となる塩釜地区救急救命士と合同で新生児蘇生の研修会を実施しました。1年に数件ある自宅分娩。母子の安全と初期対応して下さる救急救命士の皆さんが自信をもって出生直後の新生児蘇生ができるようにと始まりました。



学び

佐藤孝洋産婦人科医師による講義とインストラクター助産師によるデモンストレーション。参加者はアシスタントとして助産師スタッフ10名と救急救命士15名。新生児蘇生人形を使用して自宅分娩での出生直後の処置をメインに実践しました。さすが救急救命士の皆さん、熱心に取り組みられ技術を習得されていました。病棟助産師は全員NCPR（新生児蘇生法）を取得しているため日頃から実践をしていますが、教えることでさらに学びも深まったと思います。新生児の酸素の使用方法や自宅分娩の場合はお母さんと赤ちゃん別々に救急車は2台の方がよいのか、救急車内の温度はどのくらいなのかなど双方から質問もあり確認と学びを深める研修となりました。

抱負

救急救命士の皆さんとの交流の場を持ち、顔の見える関係づくりが大切と確認しあい、次回は我々助産師からも救急救命士に聞きたいことなども検討し来年もまた開催したいと思います。

まなmemo

コルブの経験学習サイクルとは？

コルブの経験学習サイクルとは、アメリカの教育学者デイヴィッド・コルブが提唱した、経験から学び成長するためのフレームワークです。経験、振り返り、法則の発見、行動計画の順で繰り返すことによって、人はより深い学びと応用力を自発的に獲得できます。

PDCAサイクルと似ていますが、PDCAサイクルは業務改善に焦点を当てているのに対し、コルブの経験学習サイクルは個々の知識とスキルの獲得を目的としています

